

母の文庫 室内の紹介

室内には、文庫や新書や実用書などおよそ1500冊の蔵書があります。寄贈された本や、保護者からのリクエストによって購入されてきた本が、少しずつ増えていき、長い年月を経て今まで大切に受け継がれてきました。木の看板が歴史を感じさせています。室内の様子を写真とともにご紹介します。



閉室の今、母の文庫室内の大規模な清掃を行い、整理をするともに、長年置かれていた長机を移動しました。改めて、来年度以降開室にあたり、母の文庫設立当時の思いを大切にしながら、時代の変化に伴い、より利用しやすく親しみやすい環境空間に整えていくことを検討しています。ただいま入室制限もあり、途中経過の写真ですが、開室に向けて着実に準備を進め、次年度に引き継いでまいります。

